

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141	13-128	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Genetic Variants in the Fat Mass- and Obesity-Associated (FTO) Gene are Associated with Alcohol Dependence. 脂肪および肥満関連遺伝子 (FTO) の変異はアルコール依存と関連がある		
<b>執筆者</b>		
Wang L, Liu X, Luo X, Zeng M, Zuo L, Wang KS.		
<b>掲載誌</b>		
J Mol Neurosci. 2013 Oct;51(2):416-24. doi: 10.1007/s12031-013-0044-2.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール依存、FTO、一塩基変異多型、メタアナリシス、ハプロタイプ		23771786
<b>要 旨</b>		
<p><b>背景：</b> 脂肪や肥満に関連する遺伝子(FTO)の変異 (rs9939609 など)は肥満、2型糖尿病、ある種のがん、およびアルコール摂取との関連性が見られている。</p> <p><b>方法：</b> アルコール依存症の遺伝学に関する共同研究 (COGA) (アルコール依存症例 660 と対照者 400 名) および遺伝学と環境に関する依存症研究 (SAGE) (アルコール依存症例 623 と対照者 1,016 名) のサンプルを用いて、FTO 中の 167 か所の一塩基変異多型とアルコール依存の関係を調べた。アルコール依存との関連は PLINK ソフトウェアを用いてロジスティック回帰分析で行った。</p> <p><b>結果：</b> SAGE 研究からは、アルコール依存と関連を示した上位 3 つの SNPs は rs8062891, rs1108086, rs1420318 であった (各々 p=0.00088, 0.00086, 0.00086)。SAGE 研究においてアルコール依存に関連していた 2 つの SNPs(rs12597786 および rs7204609 [各々 p=0.017, 0.034] )は COGA の対象者においても確認された(各々 p=0.017, 0.014)。PLINK を用いたメタ解析の結果、アルコール依存に関連する上位 3 つの SNPs は、rs8062891, rs12597786, rs7204609 であった (各々 p=0.00064, 0.00076, 0.0011)。SAGE 対象者におけるハプロタイプ分析は、シングルマーカー分析でのアルコール依存との関連をさらに裏付けるものであった。</p> <p><b>結論：</b> 本研究での知見は、アルコール依存および肥満(FTO は肥満との関連が報告されている)の両方への介入と予防の根拠となる。</p>		